

宮古保健医療調整本部活動報告



メンバー紹介 ～Bチーム (通称:チームLOVE)～



リーダー：菊地悠一郎
(栃木県済生会宇都宮病院 事務)

サブリーダー：四海達也
(宮城県大崎市民病院 CE)

EMIS：室野井智博
(島根県島根大学医学部附属病院 Dr)

連絡：伊藤史帆
(愛知県岡崎市民病院 Ns)
小林あずさ
(東京都立駒込病院 Ns)

資機材：貝塚伴子
(千葉県千葉大学医学部附属病院 事務)
石橋進也
(北海道北海道大学 Ns)

記録：森本健介
(岡山県保健福祉部 保健師)

目的地までの道のり

～道中にしたこと～

- ・ 車両点検・EMIS入力
- ・ ラジオで交通状況収集
- ・ 隊員の体調管理
- ・ 道路状況に合わせて経路変更



10:10 宮古保健所近辺に到着

10:15 宮古保健所 中込さんに衛星携帯電話で連絡

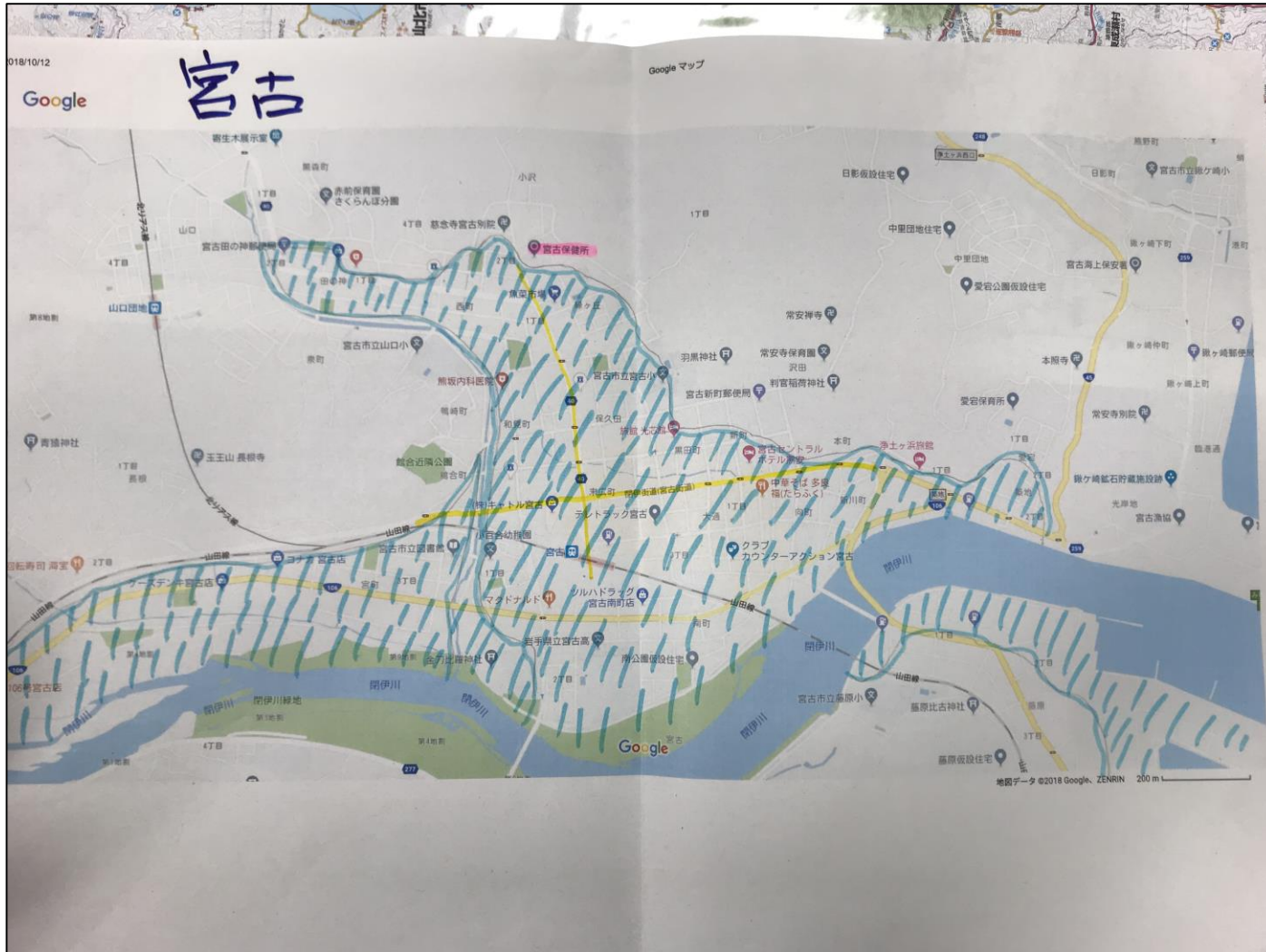
10:20 宮古保健所到着 担当者に挨拶

GOAL



8:36 岩手医科大学出発

被害状況

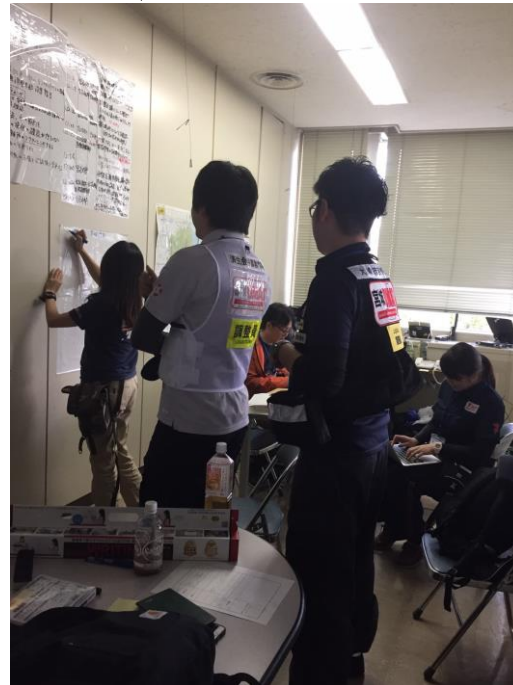


- 管内の6医療施設の現状把握はできていない
→ 支援DMATは撤退しているが受援ニーズはあり
- 市内ライフラインは全て✕
- 市内の避難所状況が掴めていない
→ 宮古市内だけで20箇所
- 宮古市内全域で壊滅状態
死者数200名以上
行方不明者数不明

活動の概要

- * 宮古保健医療調整本部の立ち上げ&支援
- * 宮古市・岩泉市・田野畑村・山田町の避難所のスクリーニング
- * 宮古市役所と訪問看護ステーション「かがやき」のスクリーニング
- * 医療ニーズの収集
- * 参集医療チームの調整
- * 宮古地域災害医療連絡会議の開催

参加機関：県医師会・保健師会・薬剤師会・消防・社会福祉協議会との連携確保
・災害医療コーディネーター（県立宮古病院Dr石黒）



保健医療調整会議の作成資料

令和元年 10 月 23 日作成

宮古地域災害医療連絡会議の開催について

(目的)

宮古地域災害医療連絡会議では、各地域における保健医療活動チームの派遣調整、保健医療情報の収集、整理、分析及び提供、傷病者等の受入れの要請及び搬送に関する総合調整、医薬品等の供給に関する総合調整、医療ボランティアの統括、今後の活動方針を検討し、意思決定をしたいと考えています。

このたびの会については、上記保健医療情報の収集に該当する、災害による宮古圏域の保健・医療・介護に関する施設や避難所等の被害の状況の確認結果、今後の方針を共有し、関係者で意思統一できるように開催するものです。

(参集者)

一般社団法人宮古医師会、宮古歯科医師会、宮古薬剤師会、県立宮古病院、県立山田病院、済生会岩泉病院、田野畑村診療所、宮古地区介護支援専門員連絡協議会、社会福祉法人宮古市社会福祉協議会、自衛隊岩手地方協力本部、宮古警察署、宮古地区広域行政組合消防本部、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、宮古地域復興センター、宮古土木センター、宮古保健所

1 7

会議案内

～宮古市内の状況～

(市役所)

- ・市役所担当オオツカさん
- ・宮古市役所 1 階が 1.5m 浸水
- ・市役所のライフライン状況
 - 電気自家発電で 2 4 時間
 - 水貯水槽で残 1 日
 - ガスは不可
 - 通信は不可
- ・職員は不眠不休で食事取れない
- ・避難者多数きている。(人数不明)
- ・宮古全域壊滅状態。2 0 0 名以上死亡。行方不明者多数。
- ・衛生電話はバッテリー残少ない

(訪問看護ステーションかがやき)

- ・職員数 2 0 名 入所者数 3 0 名 避難者数 5 0 名 計 1 0 0 名
- ・ライフラインは全て不可
- ・発電機は患者吸引用に使用しているため防寒には使用できず、燃料残少ない
- ・寒さ対策ように電気が必要
- ・下痢症状複数。
- ・1 名搬送。おそらく宮古病院か？家族への連絡は未定
- ・内服薬必要(降圧薬・副腎皮質ステロイド薬・抗精神病薬・血糖測定器など)
 - また、手指衛生薬が 3 ～ 4 日でなくなりそう。
- ・飲み水と食料は今夜で不足しそう。
- ・トイレの衛生状態は悪いが、排水はできている。
- ・1 番大きな課題としては薬剤不足と衛生材料が少ない。

現況報告

2019.10

宮古地域の避難所の情報

避難所名	第二中学校	旧愛宕小学校	新里生涯学習センター	中央公民館	宮古市防災セ
設日	10月21日	10月21日	10月21日	10月21日	10月
中避難者	男 125	68	32	11	
	女 151	85	45	15	
県避難者	男 136	81	48	12	
	女 163	105	55	16	
ベース	過密	過密	適度	適度	
搬手段の有無	車	車	車	車	
保組織	無	無	無	無	
場所	無	無	無	無	
診療	無	無	無	無	
医師との連携	無	無	無	無	
避難活動	無	無	無	無	
水	不可	不可	不可	不可	
電	不可	不可	不可	不可	
通	不可	不可	不可	不可	
定電話	不可	不可	不可	不可	
携帯電話	不可	不可	不可	不可	
一タ通信	不可	不可	不可	不可	
給者	105	48	35	28	28
	うち75歳以上	35	11	6	10
	うち要介護者	2	0	0	0
婦	2	1	0	0	
婦	0	0	0	0	
児	1	2	1	0	
児・児童	18	11	8	0	
弱者	0	0	0	0	
病患者	0	0	0	0	
宅酸素	3	0	0	0	
工透析	6	4	2	4	
レルギー症	0	0	0	0	
記事項	不眠不安はたくさんいる。「昨日」医師会が来ました。下痢4名。	不眠不安はたくさんいる。「昨日」医師会が来ました。DVT疑い3名	不眠不安はたくさんいる。腰間片付けに帰る方の外傷が多い。	皆さん不眠。下痢8名。	不眠不安はたくさんあります。体調不良の今のところしん。

避難所スクリーニング結果表

反省点

- * 関係医療機関の連絡先の確認を怠った
- * 安全管理：車両の安全確認、ハザードマップと避難経路の確認・共有、チーム内の定時連絡ルール決め
- * 避難所スクリーニングシートの活用できなかった
- * 食事準備が遅くなってしまった
- * ラップポン設置と就寝場所の確保が遅くなった

事前の想定、準備不足が全て！！！！



よかった点

- * チームビルディングが良く個々の得意分野を生かして活動でき、苦手分野をメンバー同士で補えた
- * 日常の業務とは異なる業務を行い様々な視点で活動できた
- * メンバー全員がどんな仕事においても嫌な顔せず率先して行動してくれた

などなど、様々ありますが・・・

一番は「メンバー全員が仲が良かった」

One For All , All For One♡



インストの先生方4日間お世話になりました!